

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 安八町

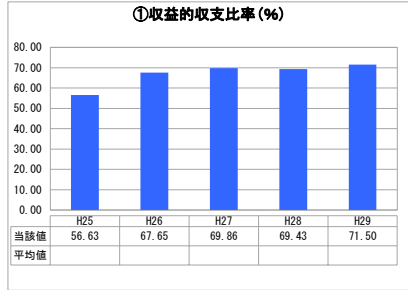
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	100.00	91.21	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,115	18.16	832.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,073	4.82	3,127.18

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



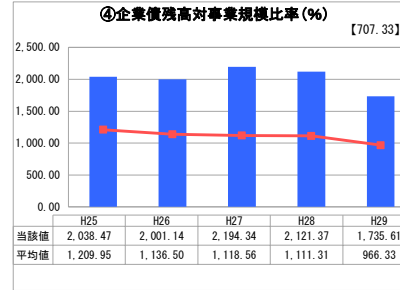
「単年度の収支」



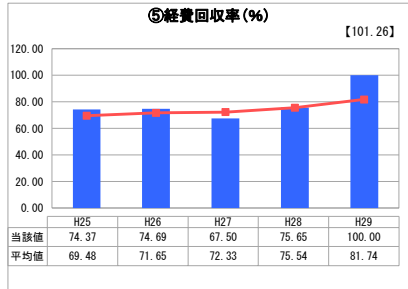
「累積欠損」



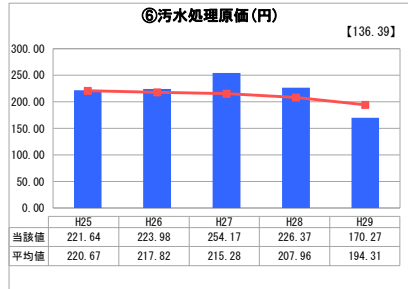
「支払能力」



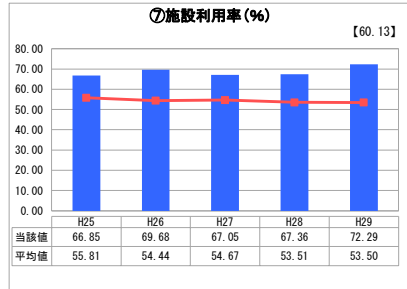
「債務残高」



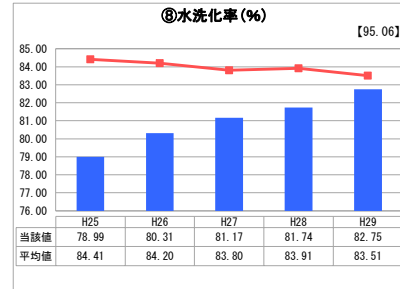
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

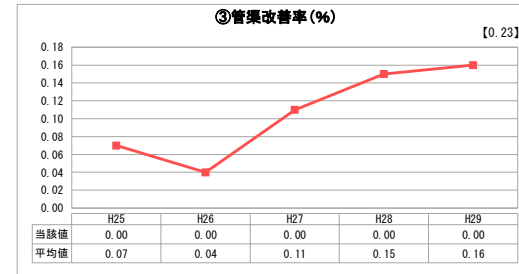
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営としては、収益的収支比率及び経費回収率が100%に満たず、企業債残高対事業規模比率も高水準であり、料金収入等だけでは維持管理や企業債償還等を賄えず、一般会計からの繰入れに依存せざるを得ない状況となっている。この要因としては、下水道整備事業の規模からみると短期間（平成3年度から平成21年度の19年間）で整備し、財源は国庫補助金以外は大部分が企業債の借入れであったことにより、毎年の企業債償還金の元金及び利子の支出が多額となったことが考えられる。そのことによって近年、経営の状況に悪影響を及ぼしている。よって経営状況の健全性を検証すべく平成28年度に経営戦略の策定を行なった。また、水洗化率については、類似団体平均値より低いのは、供用の告示からまた年数がたっていないことが考えられるが、順調に率が伸び、平均値に近づいてきた。

2. 老朽化の状況について

資産の現状としては、平成3年度から下水道事業に着手したことにより、管路については当面布設替えの必要性はないが、処理場については、第1期建設から第3期建設の内、第1期建設分の電気・機械設備が耐用年数を超えていることから平成27年度に長寿命化計画（計画期間：平成28年度から平成32年度）の策定を行い、平成28年度より事業着手した。

長寿命化計画：電気・機械設備等の改築更新（事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を計ることを目的）

電気設備工事詳細設計(H28)
電気設備工事(H29, H30)
機械設備工事詳細設計(H30)
機械設備工事(H31, H32)

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略の結果、経営において非常に厳しい状態であることが改めて示された。よって今後も投資の精査、その他経費の削減を図り、また収益となる使用料収入の増加のため、水洗化率の向上（目標値：平成37年度までに90%）及び、収納率向上を重点項目として、取り組んでいかなければならない。経営戦略の今後の検証として、PDCAサイクルの考え方を活用し、毎年進捗管理を行うとともに、概ね5年毎の検証・見直しを行なってまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。